Panasonic

一体型ＬＥＤベースライト
スクエアタイプ　埋込型

３１４

施工説明書
取扱説明書

保管用

（一般屋内用）

□600　WiLIA無線調光		ＦＨＰ４５形Ｘ４灯相当タイプ 適合本体品番　NNFK(NNFKH)45014	ＦＨＰ４５形Ｘ３灯相当タイプ 適合本体品番　NNFK(NNFKH)45014
タイプ	光　色	パネル付点灯ユニット品番	パネル付点灯ユニット品番
パネル	昼白色【5000K】	NNFK47400J	NNFK47300K
	白　色【4000K】	NNFK47401J	NNFK47301K
	温白色【3500K】	NNFK47402J	NNFK47302K
	電球色【3000K】	NNFK47403J	NNFK47303K

□450　WiLIA無線調光		ＦＨＰ３２形Ｘ４灯相当タイプ 適合本体品番　NNFK(NNFKH)35014(J)	ＦＨＰ３２形Ｘ３灯相当タイプ 適合本体品番　NNFK(NNFKH)35014(J)
タイプ	光　色	パネル付点灯ユニット品番	パネル付点灯ユニット品番
パネル	昼白色【5000K】	NNFK37400C/K	NNFK37300C/K
	白　色【4000K】	NNFK37401C/K	NNFK37301C/K
	温白色【3500K】	NNFK37402C/K	NNFK37302C/K
	電球色【3000K】	NNFK37403C/K	NNFK37303C/K

・上記（　）内は加工品番です。
・特注品の適合本体品番：ＦＡＨＸ７、ＦＡＨＸ３０、ＦＴＥ９８０Ｄ、ＦＴＥ９８０ＤＳ、ＦＴＥ９８１Ｄ、ＦＴＥ９８１ＤＳ、ＮＳＲ８４Ｌ９、ＮＳＲ８３Ｌ９（以降、加工品番および特注品番の記載を省略します）。
・本照明器具はパナソニック製スクエアタイプ専用本体とパネル付点灯ユニットの組合せで性能を満足します。

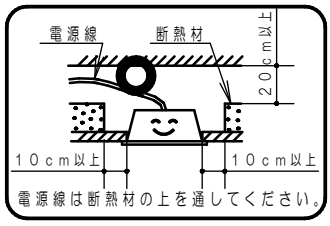
（一般屋内用）　・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠ 警　告

●パネル付点灯ユニットを単独で使用しない。必ずパナソニック製スクエアタイプ専用本体とパネル付点灯ユニットの組合せで使用する。
　落下・感電・火災の原因となります。
●施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●本体、パネル付点灯ユニットを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
●パネル付点灯ユニットが破損した状態で使用しない。落下、感電、火災の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±６％）・周波数で使用する。
　指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
●断熱材、防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。
●水平天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付はしない。
　落下・感電・火災の原因となります。



●送信電波が影響を与える可能性がありますので、安全管理のため、照明器具とＬＳ／無線信号変換インターフェースは、
　ペースメーカー、植込み型除細動器、医療電気機器等から２２ｃｍ以上離してご使用ください。
●照明器具は器具全体が視認できる場所に水平に設置ください。ルーバ天井や傾斜天井、造作物の内部には設置できません。

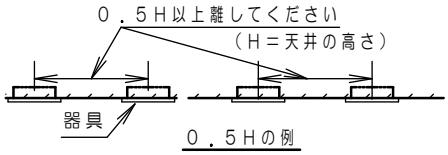
⚠ 注　意

●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所、
　粉塵の発生する場所では使用しないでください。　落下・感電・火災の原因となります。
●周囲温度は、５～３５℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや器具の耐用年限が短くなる原因となります。
●一般屋内でご使用の場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。
　（一部の食品や薬品、車の排気ガスには硫黄成分が含まれます。）
　光学性能に影響を与える場合があります。
●入力電圧が２４２Ｖの場合、漏洩電流を考慮し１回路当りの接続台数を下記の台数以下としてください。
　（定格電流２０Ａ、感度電流３０ｍＡの漏電ブレーカの場合）
　・ＦＨＰ４５形Ｘ４灯相当タイプ、ＦＨＰ４５形Ｘ３灯相当タイプ・・・３８台以下
●器具の取付け・取外しは手袋（手首まで覆われるもの）、長袖作業服などの保護具を使用する。けがの恐れがあります。
●本システムは屋内専用です。屋外では使用しないでください。
●保守・メンテナンス時に個別に電源を遮断できるように、コントローラと照明器具の電源系統を必ず分けてください。

取説No. NNFK37400C-RX-T5

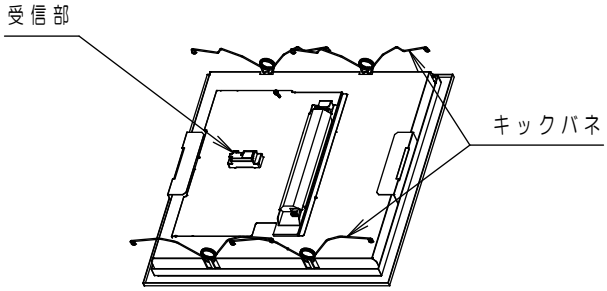
施工上のご注意

・センター１本吊りで本体を取付ける場合は、ダブルナットで取付けてください。
・器具間は、必ず下図のように「天井の高さＸ０．５」以上あけて取り付けてください。
　密集して取り付けると、器具を個別に操作できません。



０．５Ｈの例
取り付け天井高さ３ｍの場合
３ｍＸ０．５＝１．５ｍ

・照明器具を５～６ｍ程度の高天井に設置した場合や密集して設置した場合には、複数の器具が同時に操作・設定されることがあります。
　その場合は、ＰｉＰｉｔハンディライコンを照明器具に近づけて操作してください。
　なお、６ｍ以上の高所に照明器具が設置された空間ではご使用になれません。
・器具とＬＳ／無線信号変換インターフェースは５０ｃｍ以上離して施工してください。近すぎると動作しない場合があります。
・無線照明器具は、ＬＳ／無線信号変換インターフェースから見通し距離３５ｍ以内に設置してください。
　※見通しとは、ＬＳ／無線信号変換インターフェースから照明器具が直視できる状態です。
　　誤った施工状態では電波の到達距離が低下します。
・内装変更で遮蔽物が介在するなど、通信環境が変化した場合、正しい調光動作ができない場合がありますのでご注意ください。
・コンクリートに直付して設置すると、電波の到達距離が低下し、うまく動作しない場合がありますのでご注意ください。
・無線９２０ＭＨｚ帯で通信する電子タグ機器、スマートメーターなどの機器がある設置環境では、
　電波ノイズにより動作に影響を受けたり、影響を与える場合があります。
・受信部をつかんで、パネル付点灯ユニットを持ち上げないでください。破損の原因となります。
・キックバネに過度な力をかけないでください。変形・破損の原因となります。



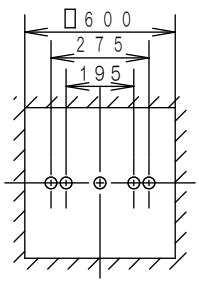
・コネクタ接続の際は、必ず電源を切ってから行なってください。パネル付点灯ユニットの故障・耐用年限が短くなる原因となります。
　万一、通電状態でコネクタ接続を行った場合、電源ユニットの保護回路（発振停止機能）によりパネル付点灯ユニットは点灯しません。
・スイッチを接地側に取付けた場合、消灯後も薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側（電圧側）に取付けてください。
　（接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。）
・入力電圧が２４２Ｖの場合、消灯直後、数回間欠点灯する場合がありますのでスイッチは必ず非接地側にお取付けください。
・Ｔ／Ｕ付６Ａリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。
　詳細については、該当Ｔ／Ｕ付６Ａリレーのカタログ・商品仕様書をご参照ください。
・当社適合コントローラとの組合せにより、光出力を約１０％～１００％に変化させることができます。
　尚、壁や柱などの遮蔽物で、照明器具を直視できない場合や照明器具がうまく動作しない場合は
　別途、通信補助器（ＮＫ２３０１０、ＮＫ２３０７１、ＮＫ２３０８１）を設置してください。
・適合コントローラ及び通信補助器は、当社製品をご使用ください。使用方法、注意事項については、適合コントローラの承認図
　取扱説明書、施工説明書をご確認ください。
・ＰｉＰｉｔハンディライコンを使用して照明器具一台ずつ個別操作する事が可能です。
　詳細はＰｉＰｉｔハンディライコンの取扱説明書をご確認ください。

各部のなまえと取付方法

埋込穴・取付ボルト位置

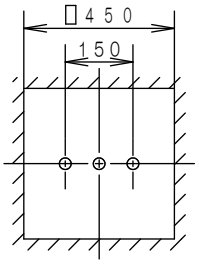
（□６００タイプ）

・取付ボルトは、
　センター１本吊り
　または
　Ｐ＝１９５　Ｐ＝２７５
　２本吊りとなります。



（□４５０タイプ）

・取付ボルトは、
　センター１本吊り
　または
　Ｐ＝１５０
　２本吊りとなります。

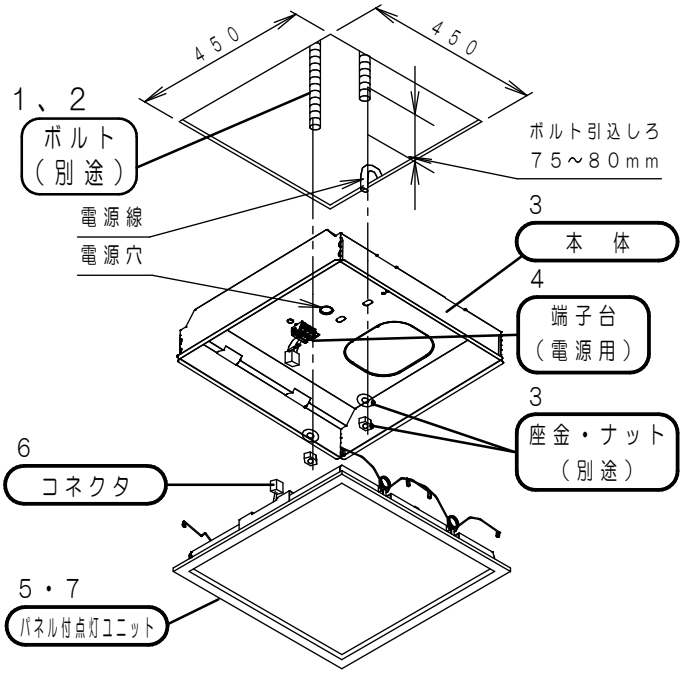


各部のなまえと取付方法（つづき）

⚠警 告

●パネル付点灯ユニットの取付・取外しの際は必ず電源を切る。
●施工は、施工説明書にしたがい確実に行う。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

※ＮＮＦＫ３７４００Ｃ＋本体の例で説明しています



1 取付前の確認

・器具質量（８．０ｋｇ：ＮＮＦＫ４７４００Ｊ＋本体の場合）に十分に耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。
取付ボルトは、Ｗ３／８又はＭ１０を使用する。
・ボルトは極端な斜め出しにならないこと。
不備があると器具落下の原因となります。

2 埋込穴の開口

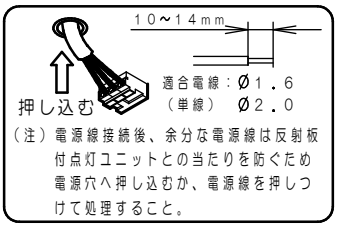
・埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。

3 本体の取付

・電源線・アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・内部配線を傷付けないように取付ける。
・本体を取付ボルトに確実に取付ける。
（推奨トルク：０．８Ｎ・ｍ）
（締め過ぎると器具・天井材が変形・破損する場合があります）
・ボルト１本吊りの場合、ダブルナットで取付ける。
・器具内線を座金やナットで挟み込んでいないか確認する。
不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。

4 電源線・アース線の接続

・電源線、アース線を
確実に差し込む。
・Ｄ種（第３種）接地工事が必要。
・端子台の容量は、２０Ａです。
（送り機能付）



（注）電源線接続後、余分な電源線は反射板付点灯ユニットとの当たりを防ぐため電源穴へ押し込むか、電源線を押しつけて処理すること。

5 パネル付点灯ユニットの仮吊り

・本体内面の▼マークとパネル付点灯ユニット背面の▲マークを合わせて曲げのあるキックバネを本体に引掛ける。
（□４５０・□６００：２ヶ所）
（仮吊りは左図の仮吊り部で行う。
曲げ部で行うと７．パネル付点灯ユニットの取付が行いにくくなります。）
取付方向を間違えると、感電・火災の原因となります。

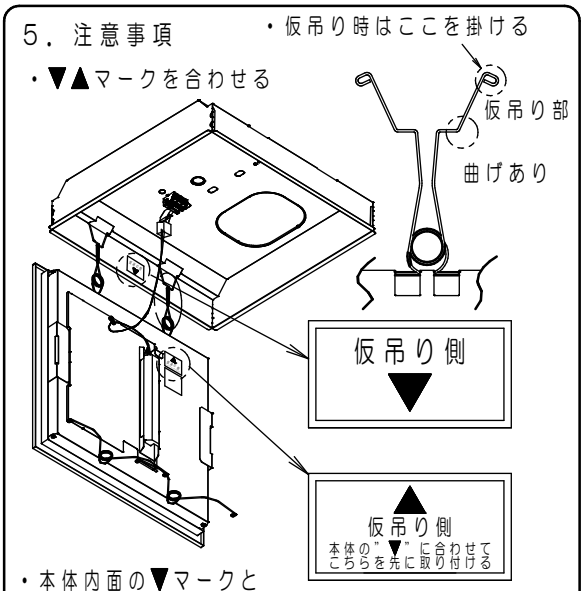
6 コネクタの接続

・コネクタを接続する。
「カチッ」っと音がするまで嵌め込んでください。

7 パネル付点灯ユニットの取付

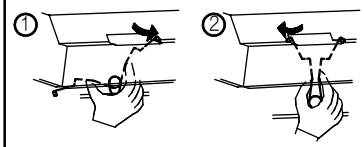
・パネル付点灯ユニットについている反対側のキックバネを本体に取付ける。
（□４５０・□６００：２ヶ所）
・パネル付点灯ユニットを押し上げる。
・コネクタ及び器具内線を挟まないように注意する。
不備があると、パネル付点灯ユニットの落下・感電・火災の原因となります。

5．注意事項



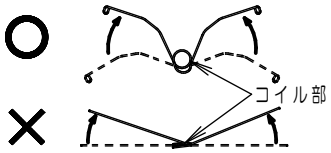
・本体内面の▼マークとパネル付点灯ユニット背面の▲マークを合わせて曲げのあるキックバネを本体に引掛けた後コネクタを接続する。

＜キックバネ引掛け手順＞



・図の手順で角穴を通して片側ずつ取付ける。

＜キックバネ取扱時注意点＞



・上図○のように扱ってください
誤った扱いをすると落下の原因となります。

使用方法

・ご使用方法に応じて、以下の手順に従い設定してください。

使用方法	組合せライコン	確認する取扱説明書
一台ごとに調光する	ＰｉＰｉｔハンディライコンとの組合せ	ＰｉＰｉｔハンディライコンの取扱説明書をご確認ください
一台ごとに調光する	ＷｉＬＩＡ無線調光システムとの組合せ	マルチマネージャーＥＸ ＬＳ／無線信号変換インターフェースの取扱説明書をご確認ください
用途に応じて一括調光する	ＷｉＬＩＡ無線調光システムとの組合せ	マルチマネージャーＥＸ ＬＳ／無線信号変換インターフェースの取扱説明書をご確認ください
設定した時間帯で自動調光する	ＷｉＬＩＡ無線調光システムとの組合せ	マルチマネージャーＥＸ ＬＳ／無線信号変換インターフェースの取扱説明書をご確認ください

取説Ｎｏ．ＮＮＦＫ３７４００Ｃ－ＲＸ－Ｔ５

取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●必ずパナソニック製スクエアタイプ専用本体とパネル付点灯ユニットの組合せで使用する。落下・感電・火災の原因となります。
●本体、パネル付点灯ユニットを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。
●パネル付点灯ユニットを取外す場合は、必ず電源を切る。感電の原因となります。

⚠注意

●パネル付点灯ユニットの交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。　感電の原因となります。
●シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
　水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
●照明器具には耐用年限があります。設置して１０年※経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検交換してください。ＬＥＤ光源は光束維持時間が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。※1：使用条件は周囲温度３０℃、1日１０時間点灯です。
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。
●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
　（チェックシート番号：ＣＬＸ２０２１ＨＡ）　点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
●点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災・感電・落下に至る場合があります。
●この器具には９２０ＭＨｚ帯特定小電力無線設備を内蔵しています。
●９２０ＭＨｚ帯特定小電力無線設備は分解・改造すること、また認証ラベルを剥がしたりラベルの無いものを使用することは法律で禁じられています。
●９２０ＭＨｚ帯特定小電力無線設備は外国の電波法には適合していません。日本国内でのみ使用可能です。

■ＬＥＤ照明器具の光束維持時間は、４０，０００時間（光束維持率８５％）です。

使用上のご注意

・光源として高輝度ＬＥＤを使用しています。光源部（パネル付点灯ユニット部）を長時間直視しないでください。
・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。
・ＬＥＤ素子にバラツキがあるため、パネル付点灯ユニット内のＬＥＤ個々、及び同一品番で発光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。予めご了承ください。
・パネル付点灯ユニットの品種により始動時間が異なる場合があります。
・光出力比（％）と目で感じる明るさ感には相違があります。
・コントローラと組合せて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。
　無線通信の混信・フェージング・電波ノイズ・障害物・通信距離などの影響で、動作遅延が発生する場合があります。
　同一器具または同一品番で点灯および消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。　低い調光域では段調光のように動作する場合があります。
　適合コントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後もパネル付点灯ユニットが薄暗く発光する場合があります。
　調光した状態でコントローラの点滅スイッチをすばやく操作した場合、１００％点灯してから設定の調光状態になる場合があります。
・システム上は照明器具仕様の調光範囲外でもタブレット設定はできますが、照明器具自体の使用範囲でしか動作しません。指定の範囲内でご使用ください。
・コントローラの電源が切断されたり、無線の混信により、照明器具とコントローラ間の無線通信が遮断された場合でも、照明器具は通信遮断前の状態を保持します。
　ただし、照明器具が調光消灯状態で通信が遮断した場合、5分後に１００％点灯します。（フェールセーフ機能）
　通信が遮断した場合でも調光消灯を維持したい場合は、フェールセーフ設定をＯＦＦしてください。
・停電（瞬時停電含む）からの復電後は、一時的に起動時調光値（工場出荷時１００％、設定により調光率変更可能）で点灯することがありますが、
　コントローラからの無線信号受信後（約１分後）に本来のスケジュール運転を再開します。
・本器具は任意のシステムと一度ペアリング設定すると、その他のシステムからの設定操作はできません。
　他システムでの設定を行う場合は、ペアリングされているシステムで事前にペアリング解除設定をして頂く必要があります。
・電源線に大きなノイズが重畳されている環境では、チラツキ等が発生する可能性があります。

保証について

・保証について・・・・・・・・・この商品の保証期間は１年間です。但し、ＬＥＤ電源は3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について・・・・・・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の保有期間・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しております。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・パネル付点灯ユニットの取外し

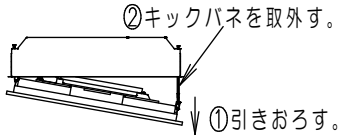
・器具の清掃について・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
　シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
　変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

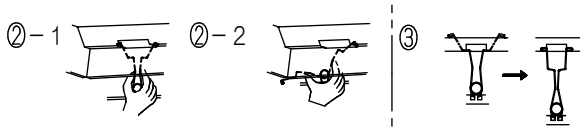
⚠警告

●感電のおそれあり。
お手入れ時は、必ず電源を切ってください。

（パネル付点灯ユニットの取外し方）

① パネル付点灯ユニットを引きおろす。
　（右図のように斜めになります。）
② 下により下がる側のキックバネを取外す。
③ 仮吊り状態にし、コネクタを取外す。
④ 仮吊りしているキックバネを取外す。





■定格

	ＦＨＰ４５形Ｘ４灯相当タイプ			ＦＨＰ４５形Ｘ３灯相当タイプ			ＦＨＰ３２形Ｘ４灯相当タイプ			ＦＨＰ３２形Ｘ３灯相当タイプ		
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	0．63A	0．31A	0．26A	0．51A	0．25A	0．21A	0．40A	0．20A	0．17A	0．35A	0．18A	0．15A
消費電力	61．4W	60．4W	60．4W	49．4W	48．4W	48．4W	39．4W	38．4W	38．4W	34．4W	34．4W	34．4W

■リサイクル　照明器具を廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　照明器具・ランプ商品ご相談窓口　https://sumai.panasonic.jp/support/
0120-187-441（フリーダイヤル）【受付時間】月～土／9：00～18：00（祝日・三が日を除く）※携帯電話からもご利用になれます。
0120-872-460（FAX）

MN1120-050626